

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 10 月 21 日（火）
地区 厚生小学校区
会場 厚生小学校 1 階ランチルーム
参加者数 26 人



《質問・意見》

商工会議所が行うまちづくり会社に対して、市はどのような支援や協力をするのか、また、どのような期待をしているのかをお聞かせください。

《回答》【市長】

まちづくり会社とは、商工会議所や民間企業に加えて行政も 3 % の出資で入り、中心市街地再生のための人的支援や財政的支援などを協議しているところです。観光や中心市街地の活性化など、行政で上手くできなかったところを進めていただき、行政は後方支援をしていくことが望ましいと考えています。

《質問・意見》

曾祢町の本通りについて、戦後火災があって区画整理がされたが、据え置かれた部分が残っている経緯がある。自治会から要望もしてきたが、早急に整備してほしい。

県道鳥羽松阪線（上野税理士事務所・喫茶リーベ周辺の交差点）の曾祢信号の切り替りが早く、高齢者が時間内に渡りきれない。担当者をお願いしているが、検討していくというだけで、良い返事がもらえない。対応をお願いしたい。

曾祢町まつりが補助金の決算の関係で 3 月初旬の開催になる。4 月上旬に開催できるよう、何とかしてほしい。

《回答》【市長】

お気持ちは十分に受け止めさせていただいています。伊勢市全体の道路の優先順位がありますので、難しい状況ですが、できるかぎり検討はさせていただきます。

信号の件は、警察の管轄になるので、担当者からも警察に話をさせてもらいたいと思います。

《回答》【市民交流課長】

補助金の決算報告は、概ね年度内、若しくは終了してから 30 日以内としていただくよう

お願いさせていただいています。今後は補助金もまちづくり協議会へ移行していく部分もありますので、使い勝手が良くないところは、まちづくり協議会の方へご意見を反映させてまいりたいと考えています。

《質問・意見》

丸二ホテル前の道路の拡張工事は、いつ頃完成するのか。今年度中か。時期を教えてください。

今後30年は高齢者が増加すると言われていたが、介護の問題を市長はどのように考えているのか、お聞かせいただきたい。

《回答》【市長】

工事について、できるだけ早く進めたいですが、用地買収が全部終わっていないのが現状です。交渉も含めて、課題を解決しながらできるだけ早く対応していきたいと考えています。

高齢社会における介護の問題については、様々な課題があります。取組を始めているのが認知症対策で、認知症サポーター登録者を増やし、市民の皆で温かく見守る環境をつくとともに、認知症の徘徊者に対して靴やステッキにシールを貼って発見しやすくし、早期に戻してあげるような取組を始めています。また、特養施設への入所希望者が1,000人くらい入っていない現状がありますが、特別養護老人ホームの待機者が多いことに対して、施設整備も進めていきますけれども、施設の過剰供給など社会問題化されることが予想されるデータも出始めているので、在宅医療と介護の連携強化を図るなど、施設と在宅との両立を考えた柔軟な取組を進めていかなければならないと考えています。

《質問・意見》

公民館の耐震対策について、おざなりになっていないか。公民館は住民の活動拠点、交流の場など重要な施設であり、選挙の投票所にもなっている。市内の公民館は古いものも多いが、耐震対策を受けられるのは一般の個人向け住宅だけである。公民館の耐震対策については手当てがない。公民館は備蓄倉庫も兼ねていることが多いのに、都市整備の建築住宅課や危機管理課など関係各課は合意形成がなっていない。耐震補強について意識を持って、検討をお願いしたい。また、現状調査をきちんとして、対応してほしい。

今後、公民館の整備についても、計画的に進めていただきたい。公民館の建設補助金の更なるアップ、また、地元負担軽減のため基金の設置をお願いしたい。金融機関でお金を借りると、利子だけでも相当の金額となる。市として基金を創生して、各自治会が無利子で借りられるような方法を検討してほしい。宝くじの助成は当たるかわからない。宝くじの助成が当たらなくてもできる補助金の額をお願いしたい。

《回答》【市長】

公民館の改修の助成については、拡充の方向で進めておりますので、ご理解をいただき

たいと思います。公民館の耐震補強にかかる現状は認識しました。補助金の額が上がるかは別として、皆さんが喜んでいただけるような対応を考えていきます。

公民館については全体的にご支援させていただき、環境整備を進めさせていただきたいと思っておりますが、行政が計画的に主導的に進めるものではないと思っております。地域の施設であるので、人口減少等も考慮し、近隣町会との共同建設、複合施設も考えていただけたらありがたい。

《意見》

近隣町会との共同建設は、現状を考えると難しい。現在、公民館はほとんど毎日使用しており、年間で2,000人が使っていることから考えると、倍以上のものを建設しないといけなくなる。実態と違うと思う。贅沢なものを建設するという訳ではない。何とかお願いしたい。

《質問・意見》

昨年、市からの依頼で空き家や防犯上危険な箇所の調査に協力して報告したが、その後の対策はどうなっているのか。対策の予定はないのか。

《回答》【市長】

調査にご協力いただき、ありがとうございます。回答がないのは、役所の悪いところです。空き家対策については、現在、協議をしています。調査をしたなかで、対策が必要なところへは文書で対応のお願いをさせていただきましたが、すぐに撤去等の対策が進んでいる状況ではありません。来年度に向けて、ルール作りの検討を進めているところです。相続された方も亡くなっている等の事例もあることから、その方に応じた対策を考えていきたいと思っております。来年度くらいには形が見えてくると思います。具体的な箇所で緊急に対応が必要であれば、またご連絡をいただきたい。

《質問・意見》

日赤の西側の道路は要望して出来た。その道路の御菌側に橋を架けることを再三お願いしている。一之木も団地がある。町会として、何とかしてほしい。

まちづくり協議会の補助金について、現状の維持をお願いしたい。誠意のある回答をお願いしたい。

まちづくり会社ができるということだが、商工会議所と町の連合会とで清川プロジェクトの計画を作成したが、進んでいない。工事はまちづくりでできるものではない。行政で進めてもらわないと無理なので、商工会議所と調整して実施してもらいたい。倉敷の道路と水路がイメージである。

《回答》【市長】

日赤の周辺の道路整備について、当初は桧尻川の橋の上でということだが、最初の計画どおりには進んでおらず、地元の理解を得るのが難しいため、他の方向性で渋滞解消ができないか検討を進めています。まとまってきたら、お伝えしたいと思っています。

まちづくり協議会の補助金については、永久にとは言えないが、できる限り現在の状況で進めさせていただきたいと思っています。ただ、5年先、10年先がどうなるかわからない世情になっていますので、皆さんにご相談させていただかなければいけないことも、出てくると考えています。

清川については、商工会議所から、成果品のまとめも見せていただいています。実現できたら素晴らしいものであると感じましたが、課題が多いとも伺っているので、商工会議所に話を聞かせてもらいたいと思っています。

《意見》

ふるさと未来づくりの構想は、状況を考えると止むを得ない施策である気がする。しかし、まちづくり協議会のトップの人の一部と市の協議だけで進んでいる。一之木町会の役員であっても協議会の役員ではなく、新たなことを考えるときや大きな施策を進めるときには、情報が伝わるように説明に行くなど、血の通った形での対応をお願いしたい。

《質問・意見》

厚生学区は、まちづくり協議会で10年間トップを走ってきた。実績も当然ある。まだまだ、他のところでは、立ち上げを行っただけのところもあると聞いている。ふるさと未来づくりでは、資金交付が重要なところ。現在の状況について来年は担保されると聞いているが、その先は未知数である。今後も支援をお願いしたい。条例については、まだ「案」なのですか。

《回答》【市長】

条例について、まず市役所の段取りがあって、たたき台をつくり、皆さんから意見をもらい、12月に議会にかけて承認をいただいたら、正式に完成する運びとなっています。

《質問・意見》

前述の質問に関連して、まちづくり協議会の補助金について、平成27年度、28年度は事務運営費300万円、活動費100万円が担保されていると聞いている。議会でもそう聞いた。平成29年度以降も担保してほしい。

活動費は横並びで100万円という形ではなく、よく活動しているところ、実績のあるところには、それなりの配分を考えてほしい。

《回答》【市長】

わかりました。まちづくりの資金は現行のものを最低5年間は確保していきたいと思えます。内容によってメリハリのある活動費の配分についても、検討課題だと考えています。

《質問・意見》

ふるさと未来づくりは平成27年度から本格稼働となり、ベースができたと理解しているが、これから第2ステージ、第3ステージに向かう。まちづくりの活動がどういう方向に向かうのか、市長の想いを伺いたい。

厚生学区は中心市街地を抱えており、まちづくり協議会は地域の賑わいを取り戻そうという思いのなかで動いてきた。中心市街地の活性化と再生について、商店街が自主的、主体的にやっていくのが本来であると理解しているが、力がない。誰がやっていくかということについて、まちづくり会社の話で商工会議所も動いているが、行政として伊勢市の商業をどう捉えているのか。

《回答》【市長】

個人的な想いであるが、具体的に言うと、広域でのまちづくりを担うとともに、行政と互いに意見をぶつけ合っていけるように、政策的なことについて意見交換ができるようになれば良いと思えます。また、協議会の活動がコミュニティビジネスにまで発展していければありがたいと思えます。頑張ったことに対して、少しでも対価として返っていくものになればと思えます。

各ステージのあり方は、それぞれの地域の活動の内容によるが、そのまちがきちんと次世代につながっていくような形で取り組んでいただければありがたい。

中心市街地の商業の活性化については、いろいろな形で進めてきましたが、成功したものの、失敗したものの整理は必要だと考えています。基本的には商業事業者で進めていくのが本来ではありますが、資金的には限界があると思えます。地元の人が地元で消費して、地域のなかで回っていく取組が大事です。そのためには、商店街事業を整理して、マンパワーが限られている状況で廃止するものは廃止し、新たなものに取り組んでいくことも大切と感じています。まちづくり、商店街も新しい仕事をしていくためには、古い仕事を捨てていかないと、限界があると思えます。

《質問・意見》

まちづくりの会として一番気になっていることは、中心市街地の現状である。商店街の高齢化、後継者不足など、問題はいろいろある。土日には、空き店舗を利用してイベントを実施するなど、人が集まってもらえるような工夫について検討をお願いしたい。

商店街の皆さんと行政の担当の商工労政課とまちづくりの3者が、今後の運営について、3者会談を定期的を開いて、何か良いものをつくれるようお願いしたい。

《回答》【市長】

3者会談は、いつでも話をさせていただけたらと思います。ただ、まちづくり会社も同時進行で動いていくことが大事だと思っています。行政主導で上手く行っている事例は数が少ない状況なので、ただ、決して逃げるのではなく、一緒にお話をしながら、一歩でも前に進めたらと考えています。

後継者不足についても、いろいろな形があると思うので、どのような形が一番望ましいのか聞かせていただきたいと思っています。例えば、空き店舗対策についても、住居と一緒にあって貸せないなど店舗の状況も様々であると聞いています。その箇所のリフォームなどを政策でできるかどうか、聞かせていただきたいと思っています。

《意見》

城田のまちづくり協議会で活動している。厚生のみちづくり協議会の活動を勉強させていただいたが、まちづくりのなかで広がりがあるのか疑問を持った。私どもも、どう広げていくか仕組みを考えていかなければと思っている。人がまちを良くしていくものと思っている。情報発信をして人を集める魅力をつけていくことが大事だと思っている。城田と厚生では地域の状況も異なる。まちづくりの仕方も違って来る。中心市街地と農村地。自分たちは、10年、20年先を見つめ、ゆっくりとした歩みをしていきたい。人を集める魅力として何か旗を立てないといけないと思っている。5つの委員会も立ち上げて議論しているので、これからも情報発信に努めていきたい。